

8/30
(日)

施設充実でさらに身近に 赤坂の里森林公園管理棟完成

赤坂の里森林公園

ceremony

赤坂の里森林公園の管理棟は、平成 29 年に火事により焼失しましたが、今年 4 月に新たな管理棟に生まれ変わりました。式典では、関係者がテープカットと記念植樹をして、完成を祝いました。須田市長は「機能が充実し、より使いやすい公園になりました。森林に親しむ施設として、しっかり管理していきます。」と挨拶しました。管理棟には利用者が交流できる多目的ホールや、シャワー室が新たに設置されました。



8/31
(月)

伊達市の国際化に貢献 国際交流員シャネンさん退任式

伊達市役所

retirement

国際交流員としての任期を終えたドノバン・シャネンさんの退任式が行われました。式では須田市長が「伊達市の国際化に多大なる貢献をいただき感謝します」と労いの言葉を贈りました。シャネンさんは「保原高校に留学し、大学で日本語を学び、伊達市で働くチャンスをいただきありがとうございます。興味深いこと、おいしい食べ物、おもしろい人たちとたくさん会えて楽しかったです」と3年間の経験を笑顔で振り返りました。



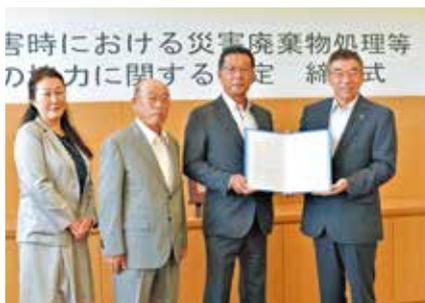
8/17
(月)

市と伊達市建設業協会 災害時の廃棄物処理で協定

伊達市役所

agreement

災害時に発生した廃棄物の撤去や収集、運搬について、伊達市建設業協会と協定を結びました。締結式で須田市長は「昨年の台風 19 号の混乱の中で、ご協力をいただきどんなに心強かったことか。災害が発生しないのが一番ですが、現場経験豊富な皆さまのお力添えをお願いします。」と話しました。大沼貞生会長は「市民のため、協会 34 社で力を合わせ、建設業の技術と機動力を生かし、復旧に務めます。」と語りました。



8/26
(水)

ロボットを動かして学ぶ 月舘学園でプログラミング学習

月舘学園

learning

プログラミング学習に挑戦したのは、月舘学園小学校 6 年生 13 人です。物事を順序立てて考える力を養うため、小学校では今年度からプログラミング教育が必修となりました。児童たちが学習に用いたロボットは伊達市の企業が開発した「あるくメカトロウィーゴ」です。児童がパソコンを使って「あるく」「すわる」「ダンスをする」などの命令をすると、ロボットが指示通りに動きます。初めての体験に児童たちは興味津々の様子で学んでいました。

